

富秋中学校区等まちづくり検討会議（第10回） 議事概要

1. 日 時：令和元年10月23日（水）19：00～20：30

2. 場所：和泉市 人権文化センター 大会議室

3. 出席者：委員 19名
和泉市職員 19名
コンサルタント 3名

4. 議事次第

- (1) 委員の追加について
- (2) まちづくり構想（地域案）について
- (3) 今後の予定

5. 議事概要

■委員・役員の追加について

※以下、特記無き場合委員の発言

- 事務局より委員追加について説明。委員への追加が承認された。
- 事務局より役員追加について説明。役員への追加が承認された。

■まちづくり構想（地域案）について

- 市浦より資料説明 【富秋中学校区等まちづくり構想（地域案）】

- ・ 前回の会議ででた意見を加味し、修正版を作った。本案について意見を頂きたい。
- ・ 11P の三つ目の青丸の文章について、「どのように跡地を活用し、どのような「まちの核」をつくるかは、これから地域・学校・行政などで議論を行い、事業者の意見も取り入れながら決めていきます。」から「事業者の意見も参考にしながら決めていきます。」に変えてはどうだろうか。また、18Pの「大切にしたいこと①」の項目の最後の文章について、行政の方々と共に汗を流していきたいという思いがあるので、「行政と連携しながら地域に必要な場を自分達でつくっていく。」から、「行政と連携しながら地域に必要な場を共につくっていく。」に変えてはどうだろうか。
- ・ 23Pの「協議の場」において今後の福祉活動の優先順位として挙げられた取組みでの、各校区の意見や優先順位の違いに表れているように、それぞれの校区で抱えている問題は違うので、一緒くたにまとめて議論するのはよくないと思う。池上小学校の話をするれば、災害時の避難地になっていることや、子どもと町内の交流がうまくできているのに、小学校を潰してしまうと、そういう良い状態からも遠のいてしまうのではないかという危惧している。池上地区の従来の考え方としては、まちの核は信太山駅、池上曽根遺跡、古くからある街並みと捉えてきた。そういった考えはこの計画案には、まったく反映されていないので、住民の意見がどれだけ聞いているのか疑問に思う。そういった意味では、誰が作った計画なのか、その責任の所在も含めて明らかにしなければ、最終的に住民が困ること

になると思うので再検討お願いしたい。

⇒まず、前提として確認しておきたいのは、幸校区と池上校区の課題を一緒くたにしてしまうといった荒っぽい話ではない。それぞれの課題は、各校区でそれぞれ取り組みを進めるが、富秋中学校区で共通する部分については連携し、共にアイデアを出し合いながら、課題解決の糸口を探ればという話である。住民の声の聞き方についてだが、何もないところからは話がしにくいと思うので、まずたたき台として作ったのがこの計画案である。そのため、今後も住民の声は聞いていくということは確認しておきたい。今後の手続きとして、この住民案を作った後、市からも案をだしてもらい、それらをすり合わせていくというスケジュールになっている。そのため、この計画に最終的にできた計画についてはもちろん住民も責任を持つし、市にも責任を持っていただくことになる。

・今の、発言からすると、この案の取りまとめに、これから細かく地域の意見を聞き、策定までにあと1~2年かかってほしいと聞こえるがどうだろうか。市の意見とのすり合わせが一番大事だと思うので、早い時期にやっておくべきだと思う。

⇒タイムスケジュールとしては、市の考えもある。ただ、市営住宅の耐震化の問題など地域としても急いで取り組むべき課題を抱えているのも実情である。

⇒資料のスケジュール案では、来年3月に計画が策定されることになっており、あと6ヵ月しかないが、これから変えていけるのか疑問に思う。

・これまで、この秋にまとめることを目標に、2年間かけてワークショップや検討部会、検討会議などたくさん話し合いを重ねてきて、それらを積み重ねてきたのが、たたき台の段階ではあるがこの計画案である。議論が複雑な部分もあったので、最終的にそれらをまとめると少しイメージと違うと思う人や、検討部会やワークショップは誰でも参加できるように呼び掛けてきたが、参加されなかった方で、こんな形になるとは思わなかったと感じる人もいるかもしれない。ただ、この地域案はあくまでも地域で作った案として、市に提出するものである。また、この2年間、全ての会議やワークショップに市の担当職員も付き合ってくれてきたので、細かい部分は除き、市の方々から見ても概ね実際に進めることができる計画になっていると思う。

⇒住民の意見になっているとおっしゃられたが、そうはなっていないと思う。池上小学校区は池上曽根遺跡や駅を核として伸ばしていきたいと考えているのに、それが書かれていないのはおかしい。また、これまでの会議で、池上小学校をつぶして住宅地にするのはおかしいと発言してきたが、それが反映されていない。

⇒池上小学校の跡地の部分の記載については、現段階では特定の施設や用途を記載するのは、議論が深まっていないという判断のもと、まちの核としての表記のみにしており、住宅地としての表記はしていない。(事務局)

⇒池上小学校はそのまま残してもらえということか。

⇒いえ。あくまでも、跡地については、これまでの議論ではまだ決められないので、以前の資料には案として住宅地との表記はしていたが、今は掲載していないということである。

・幸校区ではこの間、自治会など各種団体が集まり意見を出し合ってきた。1点目は幸校区ではこれまで、同和対策事業で様々なまちづくりがされてきて、そこには地域の人々の想いがあるということで、そのあたりの文言をこの案に反映できないだろうかという点。2点目が小中一貫校については概ね賛成で、よい学校を作っていこうという話になったが、幸小学校の跡地についてはもっと慎重に考えるべきとの意見があり、今の案で和泉第一団地跡地に記載されている複合施設を幸小学校跡地にできな

いかという意見もあった。これらの意見についてご議論をいただきたい。

⇒前回の検討会議からこの間に、幸校区では自治会などから 25 人程度集まってもらい、推進委員会として 2 回ほど議論の場を設けた。来年 3 月ありきではなく、もう少し継続的に議論ができないかといった意見は出ている。また、幸小学校跡地に複合施設を持ってくるべきだと考えている人が感覚としては 8 割くらいあるといった印象。

・池上小学校の跡地の問題や、複合施設を幸小学校跡地に持って来るといった話は、もっと早い段階で議論すべきだったように思う。一方で、2 年間という時間をかけてきた経緯から、この時点で修正をかけていくとするならば、その意見がどのような人たちでの集まりの場で議論され、なぜそうすべきなのかといった明確な理由を示していただくべきだと思う。また、場合によっては代替案も示してもらえればと思う。

⇒そもそも検討会議は討議の場なので、まだ計画が決定していない段階なので、思った意見は出していくし、流れに沿ってないような意見であったとしても、発言すべきことを発言してきた。

⇒2 年間議論を積み重ねてきた中で、その場ですぐに解決案の出ないような意見もたくさんあるなかで、何とか意見を積み重ねてきたものが、今の案だと思う。そのため、代替案を示すような形で議論を進めていったほうがよいだろう。

⇒この 2 年間の議論で、ある程度意見は出尽くしたと思う。市営住宅の耐震性の問題も絡んでいるなかで、ある程度のところで案としてとりまとめ、市とのすり合わせに入っていく時期にきているのではないだろうか。

⇒緊急性の高い市営住宅の話と、急がなくてもよい富秋中学校区全体のまちづくりの議論について、それぞれのタイムスケジュールを一緒にたにせず、切り分けて議論することでそれぞれのテーマに必要な意見集約の時間を設けてはどうだろうか。

・小中一貫校や、まちづくりなどいろいろな議論があるなかで、そのベースとなるのは、まちに新たに人を呼び込むことだと思う。それがなくては、せっかくまちづくりの計画を作り、取組んだとしても、うまくいかないのではないだろうか。

⇒新たに若い世帯を呼び込み、人口増につなげていくといった観点から、学校の問題が占めるウエイトは大きい。そのため、小中一貫校の問題は重要ではある。ただし、あくまでも学校だけでなく病院や福祉施設など様々な核が集まる中でまちは形成されているので、小中一貫校化ができなかったからといってまちづくり全体がだめになってしまうといった話でもないと思う。

⇒隣接する伯太校区は学校のレベルが上がってきている。そうなってくると人も集まってくるようになる。新たに作る小中一貫校もレベルを上げていくことで、人の呼び込みにもつながると思う。それがまちの人口を増やしていくうえで、極端な話かもしれないがそれが一番、早い道だと思う。

・議論がハード面の整備の話に集中しているので、そちらだけが先行しているように感じられるかもしれないが、この間、ソフトの取組も立ち上げ、子育て世帯が魅力を感じていただけるようなまちづくりイベントも同時進行で進めている。そのような取り組みも踏まえて、出来上がってきたのがこの案だと思う。幸校区では、小学校跡地について自主的に議論を進めているが、池上校区では全体としては議論できていないと思う。例えば、極端な話、池上校区で議論すれば複合施設を池上小学校跡地にといった話になるかもしれない。そういった意味では、議論の余地はまだあると思う。私自身、この案に対してまだ懐疑的な部分も残っているが、これまで 2 年間議論した結果として、一旦どこかで地域案をたたき台としてまとめることで、今後の議論もしやすくなるのではないかと。

⇒この地域案は、地域の最大公約数をとった結果としてまとめられたものでなければ、市としても、とり扱いが難しくなってしまうと思う。そのため、地域の最大公約数として認められる状態までもっていただきたいと思う。(事務局)

- 先ほど、複合施設を和泉第一団地跡地ではなく、幸小学校跡地にもってくるべき理由を聞かれたと思うが、主に2つの理由がある。1点目はこれまで地域の中心として親しんできた幸小学校が、地域からなくなってしまう寂しさ。2点目は現在の和泉第一団地の周辺環境が、福祉施設を立地させるのに適さないという声だった。これらの意見がたくさん出ている状況のため、それでも和泉第一団地の跡地にとということであれば、これらの意見を退ける理由を示すことができなければ、地域に説明できない。

- 例えば、これを仮に最大公約数としてアンケートをとり、住民の意見を聞くといった手続きは踏めないだろうか。(事務局)

⇒アンケートはもちろんやるべきだと思う。ただし、ここは違うのではといった意見も出てくると思うので、そこは丁寧に対応していくべきだと思う。

⇒ここまでの意見のなかで、そろそろ取りまとめに進むべきといった意見や、検討会議も何度も開くことは難しいという状況だと思うので、一旦、役員会と部会長に預けていただけないだろうか。ここは行政の方にも入ってもらい、スケジュールについても話したいと思う。

○ 市浦より資料説明 【今後の予定】

- 11月の予定に地域全体への説明とあるが、どんな単位を想定しているのか。

⇒想定としては、人文センターのような大きな場所を借り、富秋中学校区全体を対象に実施したいと考えている。(事務局)

○ 市浦より資料説明 【アンケート】

- アンケートについては発出までに期間があるので、一旦読んでいただいて、役員や市役所の方にご意見いただければと思う。

- 2Pの問3で、選択肢2の概ね賛成だが進めるうえで意見があると、選択肢3の進めてほしくないの選択肢はよく似ているように思う。例えば選択肢2を、「概ね賛成」と進めるうえで「意見がある」に分けてはどうだろうか。

⇒仮に、選択肢2を分けてしまうと、「意見がある」を選択した人が、自由記述の内容にもよるが、進めてほしいのか、そうではないのかがはっきりしない。(事務局)

■その他

○ 居場所づくりイベントについて説明

- お手伝いが不足している。駐車スペース、受付、店番などお手伝いいただける方を教えていただければ調整するので、教えていただきたい。

- 他になければ、今回の会議はこれで終了とさせていただく。次回の会議の予定は、役員会がおわり次第、予定をお伝えできるようにしたいと思う。